

トルフェンピラド乳剤 ハチハチ乳剤	取扱メーカー： OAT, 日農 原体メーカー： 日農
成分： トルフェンピラド〔PRTR・1種〕……………15.0% その他 PRTR 該当成分： 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩〔PRTR・1種〕……………2.9% メチルナフタレン〔PRTR・1種〕……………1.6%	性状： 黄色澄明可乳化油状液体 毒性： 劇物 消防法： 第4類・第3石油類(水溶性)・ 危険等級Ⅲ

【品目特性】……………

- 既存の殺虫剤と異なるタイプの殺虫剤なので、既存の殺虫剤に抵抗性を発達させた害虫に対しても卓効を示す。
- 異なるタイプの殺虫剤なので、ローテーション防除体系に難なく組み込める。
- アブラムシ、コナジラミなどのカメムシ目からアザミウマ目、コウチュウ目、ハエ目、コナガなどのチョウ目やサビダニ類、ホコリダニ類など他に例を見ない殺虫スペクトラムの広さを示す。
- チョウ目に対して食害防止効果や殺卵効果が期待できる。
- 殺菌効果を有する：うどんこ病、べと病、白さび病などに効果。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 植物体への浸透移行性がないのでかけ残しのないように葉の表裏に十分散布する。
- マルハナバチを導入する場合、処理後6日以下降から導入する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- はくさい、きゅうり、かぶ、にがうり、レタスの幼苗期に使用すると薬害を生じるおそれがあるので使用をさける。
- 周辺作物（セルリーの幼苗期、こまつな、チンゲンサイなどの軟弱野菜及びばら）にかかると薬害を生じるおそれがあるので、かからないよう十分注意して散布する。
- しそ科植物（しそ、サルビア等）にかかると薬害を生じるおそれがあるので注意する。
- 茶に使用する場合には、コテツフロアブルとの混用はさけ、近接散布をする場合は少なくとも10日以上あけて散布する。

【安全対策上の注意】……………

- 魚類、甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないよう注意。
- 天敵昆虫に対して影響があるので注意。
- 共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を参照。
- マルハナバチに対して影響があるので注意する。



作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	トルフェンピラドを含む 農薬の総使用回数
にんにく	ネギコガ チューリップサビダニ アザミウマ類 アブラムシ類 さび病	1000 倍	100 ～ 300 ℓ	7 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内
にら	ネギアザミウマ			14 日前まで			
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ チャノホコリダニ チャノナガサビダニ	1000 ～ 1500 倍	200 ～ 400 ℓ	摘採 14 日前まで	1 回		1 回
	チャトゲコナジラミ マダラカサハラハムシ ツマグロアオカスミカメ						
きく	アブラムシ類 アザミウマ類 ハモグリバエ類	1000 倍	100 ～ 300 ℓ	発生初期	4 回以内		4 回以内
	白さび病			発病初期			